

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年7月31日(2014.7.31)

【公開番号】特開2013-202178(P2013-202178A)

【公開日】平成25年10月7日(2013.10.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-055

【出願番号】特願2012-73746(P2012-73746)

【国際特許分類】

A 6 1 J 3/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 J 3/00 3 1 0 K

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月17日(2014.6.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

P T P シートから錠剤を取り出す複数の錠剤取出ユニットを具備する錠剤供給装置を制御するコンピュータであって、

少なくとも 1 つの錠剤の処方内容が含まれる処方箋データを受け付ける受付手段と、前記複数の錠剤取出ユニットのうちいずれの錠剤取出ユニットを使用するかを、錠剤に対応した配置情報として記憶する記憶手段と、

前記受付手段で受け付けた前記処方データに含まれる錠剤に対応する P T P シートを配置する錠剤取出ユニットを、前記記憶手段に記憶された前記配置情報に基づいて決定する決定手段と、

前記決定手段で決定された前記錠剤取出ユニットを識別できるように表示制御する表示制御手段と、

を備えることを特徴とするコンピュータ。

【請求項 2】

前記決定手段は、前記記憶手段に記憶された前記配置情報に基づいて、P T P シートを配置する錠剤取出ユニットが決定されたにもかかわらず、当該錠剤取出ユニットが使用できない場合には、前記処方箋データに含まれる錠剤に対応する P T P シートを他の錠剤取出ユニットには配置しないように決定することを特徴とする請求項 1 に記載のコンピュータ。

【請求項 3】

前記処方データに複数の錠剤の処方内容が含まれる場合に、1 つの錠剤ごとに前記決定手段による決定を行うことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のコンピュータ。

【請求項 4】

過去に P T P シートを配置した錠剤取出ユニットを錠剤ごとに記憶する履歴データ記憶手段をさらに有し、

前記決定手段は、前記受信手段で受信した前記処方箋データに含まれる錠剤が、前記履歴データに記憶される錠剤である場合には、前記記憶手段に記憶された前記配置情報より優先して当該錠剤取出ユニットに配置されるように決定することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載のコンピュータ。

【請求項 5】

手撒き部に撒く錠剤を記憶する手撒錠剤記憶手段を更に有し、

前記決定手段は、前記受付手段で受け付けた処方箋データに含まれる錠剤が前記手撒錠剤記憶手段に記憶される錠剤である場合には、前記受付手段で受け付けた処方箋データに含まれる錠剤に対応するPTPシートを錠剤取出ユニットに配置さしないように決定することを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載のコンピュータ。

【請求項6】

前記表示制御手段は、前記錠剤供給装置の各錠剤取出ユニットに設けられた点灯指示手段を点灯させるように制御することを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載のコンピュータ。

【請求項7】

PTPシートから錠剤を取り出す複数の錠剤取出ユニットを具備する錠剤供給装置を制御し、前記複数の錠剤取出ユニットのうちいずれの錠剤取出ユニットを使用するかを、錠剤に対応した配置情報として記憶する記憶手段を備えたコンピュータの制御方法であって、

少なくとも1つの錠剤の処方内容が含まれる処方箋データを受け付ける受付工程と、

前記受付工程で受け付けた前記処方データに含まれる錠剤に対応するPTPシートを配置する錠剤取出ユニットを、前記記憶手段に記憶された前記配置情報に基づいて決定する決定工程と、

前記決定工程で決定された前記錠剤取出ユニットを識別できるように表示制御する表示制御工程と、  
を備えることを特徴とする制御方法。

【請求項8】

PTPシートから錠剤を取り出す複数の錠剤取出ユニットを具備する錠剤供給装置を制御し、前記複数の錠剤取出ユニットのうちいずれの錠剤取出ユニットを使用するかを、錠剤に対応した配置情報として記憶する記憶手段を備えたコンピュータで読み取り実行可能なプログラムであって、

前記コンピュータを、

少なくとも1つの錠剤の処方内容が含まれる処方箋データを受け付ける受付手段、

前記受付手段で受け付けた前記処方データに含まれる錠剤に対応するPTPシートを配置する錠剤取出ユニットを、前記記憶手段に記憶された前記配置情報に基づいて決定する決定手段、

前記決定手段で決定された前記錠剤取出ユニットを識別できるように表示制御する表示制御手段、  
として機能させることを特徴とするプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本願発明は、PTPシートから錠剤を取り出す複数の錠剤取出ユニットを具備する錠剤供給装置を制御するコンピュータであって、少なくとも1つの錠剤の処方内容が含まれる処方箋データを受け付ける受付手段と、前記複数の錠剤取出ユニットのうちいずれの錠剤取出ユニットを使用するかを、錠剤に対応した配置情報として記憶する記憶手段と、前記受付手段で受け付けた前記処方データに含まれる錠剤に対応するPTPシートを配置する錠剤取出ユニットを、前記記憶手段に記憶された前記配置情報に基づいて決定する決定手段と、前記決定手段で決定された前記錠剤取出ユニットを識別できるように表示制御する表示制御手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 4】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 0 8  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 5】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 0 9  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 6】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 1 0  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】